

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団機械器具置場建設事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	09	01	03	02	54
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民 消防団員	意図	消防団機具置場を改修することで、地域の防災拠点施設が整備され、消防力の充実が図られることにより、災害から市民の安全を確保できる。
事業内容	分団機械器具置場・ホース乾燥塔を改修工事するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	建築から30年をめやすとして、古い順に建て替えを行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	防災施設を強化することにより、地域防災力が向上する。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成30年10月に建設工事の契約を締結、着工に至るも、設計変更が必要となり、平成31年8月31日まで工期を延長した。		
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			9,436,800				
事業費(b)(円)			6,800,000				
うち一般財源			6,800,000				
職員給与費(c)(円)			2,636,800				
人役・職員(人)			0.40				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	消防防災施設強化事業補助金（千葉県）の採択を受け着手する。	③取組における課題(Check)	設計の際の図面、現地の確認の徹底。
②H30に実施した取組(Do)	建設工事及び変更契約の締結。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	建築年数が古い順に建て替える。